

水質測定記録表の記載方法

この表は、水質汚濁防止法第14条第1項の規定により、排出水の汚染状態を記録するための様式です。3年間特定事業場に保存しなければならず、立入検査の際にその提示を求められます。

なお、記録は電子媒体によることができ、必要事項（測定年月日、時刻、測定場所の名称、排水量、特定施設の使用状況、採水者、分析者、測定項目）が記載されていれば任意の様式を利用できます。

1. 特定事業場名

測定結果報告書の事業場名を記載してください。

2. 測定年月日及び時刻

採水を実施した年月日及び時刻を記載してください。排出水の分析日ではありません。

3. 測定場所

① 名称 採水した場所の名称を記載してください。

例：排水口 や 放流槽 など

② 排水量 採水当日の排水量を記載してください。

4. 特定施設の使用状況

採水当日の使用状況（通常又は休止）を記載し、休止の場合はその理由を明記してください。

例：点検中 など

特定施設が複数ある事業場については汚水処理施設の稼働状況について記載してください。

5. 採水者

実際に採水した者の組織、職および氏名を記載してください。

6. 分析者

実際に分析した者の組織、職および氏名を記載してください。

7. 測定項目

実施した項目すべてについて記載してください。

なお、測定する項目は、特定施設の設置・変更・使用の届出にあたり

別紙4「排出水の汚染状態及び量」で届け出た項目等について実施してください。

8. 測定頻度

測定頻度は、3ヶ月に1回以上とします。

9. 計量証明書の写しの添付

分析結果の根拠資料として計量証明書の写しを添付してください。